

シニアオリエンテーリング

あいちシニアオリエンテーリング愛好会 444-0856 愛知県岡崎市六名1丁目5-6

No.17 2025.5

ホームページ: <https://www.mics.ne.jp/~ono511/senior.htm>

デフリンピック

オリエンテーリングの認知度アップに期待

2, 3 年前の中日新聞に掲載されたデフリンピック紹介記事

2022 年 9 月にオーストラリアで開催された国際ろう者がスポーツ委員会総会で 2025 年に東京で夏季大会が開催されることが決まり、日本国内でも報道された。

過去のデフリンピックでオリエンテーリング実施されたことをオリエンテーリングマガジン編集で知っていた小生は、これはオリエンテーリングの普及振興に影響するイベントと判断し、さっそくJOAへ連絡し、種目として入れてもらうよう、働きかけをお願いした。

JOAはさっそく、日本の大会関係者と相談し、採用が決定した。その後トレインも決まり、現在に至っている。

テレビ、ラジオで放送される国会の委員会質疑でもデフリンピックに関する質問をよく耳にすることも増えてきた。

先日、5月14日午後8時からのNHKのEテレ「ハートネットTV」でオリエンテーリングの代表に一足先に決まった、辻 悠佳（Yuka TSUJI）さんが他競技の代表者とともに出演。わかりやすい映像とともに意気込みを語っていた。



辻 悠佳さん

（日本デフオリエンテーリング協会 HP より）

デフオリエンテーリングはオリエンテーリングマガジン（2016年12月に廃刊）に2011年10月号に日本デフオリエンテーリング協会会長を勤められていた野中好夫さんから「日本デフオリエンテーリング協会と、その今後について」という記事をいただいたことが最初だったと思う。合わせて第2回世界デフオリエンテーリング選手権の報告をいただいた。その後、2013年10月号に夏季デフリンピック2013の報告をオリエンテーリングマガジンに寄稿いただき、デフリンピックの認識を深めた。

今年になって、当愛好会の主催する「東三河ふるさと公園オリエンテーリング大会」にデフオリエンテーリング協会の役員を勤められる愛知県の櫻井忍さんら3名の方が参加。5月4日の岡崎市民オリエンテーリング大会にも参加され、日本代表への意欲を感じるとともに、ろう者へのオリエンテーリングの広がりを感じた。

オリエンテーリングが一般紙面を飾ることにより、オリエンテーリングの広がりを期待したい。

イベント報告

岡崎東公園常設コース開設 52 周年記念大会

岡崎東公園の常設コースが昭和48年に開設され、今年で52周年になるため、これを記念して東公園の周辺の昔の街道、道根往還周辺の山野にてオリエンテーリング大会を5月18日（日）に開催した。

競技形式は高レベルの競技者から初心者まで同じ土俵で戦えるスコアオリエンテーリングとし、常

設コースのコントロールも活用し、易しいものから高い技術を要する様々なコントロール24個を設けた。

PRは岡崎市民に対し特に力を入れ、岡崎市の後援をいただき、岡崎市政だより、岡崎市・幸田町の中日新聞に折り込まれる岡崎ホームニュースに掲

載。Web では岡崎市の市民活動広場、愛知県のあるスポーツの Web サイトに掲載した。また岡崎市内にある 4 つの地域交流センターにもチラシを置いた。長年の我々の怠慢がたたって、今回は十分な参加は得られなかったが、更なる PR 活動の必要を感じた。

話は大きく変わり、今回設置した 24 個のコントロールでどこのコントロールへ行っているのか、一人も行っていないコントロールはあるのか、探してみた。

コントロールを示すパープル円の外側の円

赤の円：60 点 オレンジの円：40 点

赤、オレンジの円のないもの：20 点

パープル円の内側の円

赤の円：20 人・組パンチ オレンジの円：10～

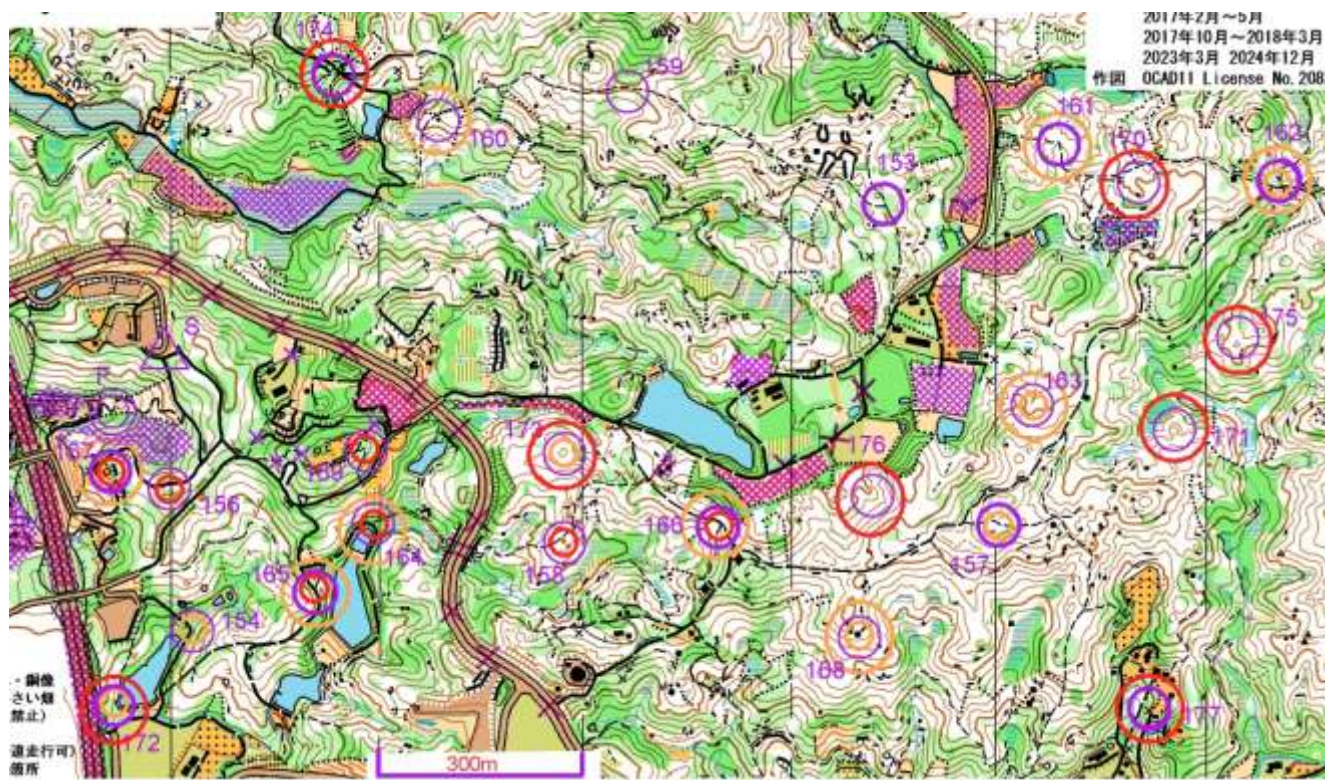
19 人・組パンチ

(総数：E カード不調で記録なし 1 名を除いた 30 名)

多くの参加者、特に N クラス、A クラス 18 歳以下、グループは公園を取り囲む広い道路の内側と東および北東に進む尾根道から大きく離れないコントロールをターゲットにした。

一人も行かなかったコントロールは群から離れた 177 番であった。

尚、最も多くコントロールを回ったのは石川県から来ていただいた齊藤さんで、176 と 177 を除き 880 点を得たが、タイムオーバーで得点は -120 点となってしまった。果敢なチャレンジに拍手を送ります。



スタート&フィニッシュ



★4 月
27 日に
テープ
巻作業
に 参
加、北
の部分
8 ヶ所

(全 24 コントロール) を 2 人で行う。

★前日のコントロール設置作業を午後から、前にテープ巻作業を行なった所に 1 ヶ所増やして 4 コントロールを行なった。

★当日の確認作業を 8 時集合で、前日コントロール設置した所ではあったが 9 時半頃まで要した。

★その後はスタート場所作りで 2 人(小生含む)とゴールの設営は A さんが 1 人で行なっていた。

スタート時は 1 人がアクチベート専任で、地図の配布は出走者の名前確認後に各自で箱から取ってもらう事になりました。

小生は出走者の名前確認を行なったが 2 名確認できずに欠席扱いで計センに報告となってしまいました。

スタート後の片付け作業をしていると S さんが来て、スタート直後にもギブアップしてゴールへ戻る人もいるので、ゴール設営も早く行う必要があると言われ、半片付けで S さんと共にゴール作りに向かいました。

★その
後はゴ
ールで
出走者
全員の
帰りを
待ちま
した。



途中で気が付いたのですが、会場への戻りの誘導テープが付けられなかったのは失敗でした。

ゴール手前のつづら折の下り坂で怪我をしたと言う人がいましたが、顔を見てはじめて大変だと思いました。

人が次々と降りてくるのは見えますが、誰がどうしているのか等はゴール地区からは分かりません。

顔面に傷をした人も見えましたが、大事故にならず事を終えることが出来ましたが、ゴール前の下り坂は危険を伴うようです。

ゴールした人に番号カードを渡しましたが 32 枚で計センの参加者数 33 名(組)とこちらも合いませんでした。

★全員がゴールするのを待て、会場担当者を除き 4 名で撤収に入りました。

撤収作業を終えて駐車場に戻ると、会場の片付け作業も終えて皆さんが駐車場で使用備品の片付け作業に入っていました。

大きなトラブルもなく無事に終了でき、先ずは一安心でした。

地図：「道根往還」

縮尺：1/7500 等高線：5m

全ポスト 24 コントロール